

マネージメント情報

※ 酪農場の雇用について。

農場において安定した雇用の確保、従業員の関わり方については難しい問題であると感じている経営者の方がたくさんいらっしゃると思います。
経営者の立場、労働者の立場ではむろん考え方は異なるわけで、それとなく両方に話しを聞くとそれぞれに不満や不安ばかりがでてきます。

挨拶ができない。	給料が安い
言葉遣いがない(タメ口)。	仕事がキツイ
長続きせずにすぐに辞めてしまう。	休みが少ない
仕事の覚えが悪い。	楽しくない
言ったことしかしない(応用がきかない)。	親方が言葉をかけてくれない
理屈ばかり言って仕事をしない。	怒ってばかりいる
自分の非を認めない。	社会保険に加入していない
	将来が見えない

共通して耳にするのはこんな感じでしょうか…。

不平や不満の中からは前向きな考え方はうまれてきませんし、ましてや良い結果は言わずもがなです。そのためにはどうしたらよいのか？というヒントになればと思い、製薬会社ファイザーの フィールド フォース イフェクティブネス部 FFE マネージャー 山南秀男氏による酪農場における雇用関係(人事・研修ノウハウ)の講習会を来月 11/14(土) 午前10:00～午後3:00の予定で別海町交流館“ぷらと”2F 第一会議室で行います。

講師の山南氏は全国の養鶏・養豚農場において同様の講習会を行っており、第一段階としては経営者(農場代表者)対象、その次に農場の No2、その次に職員、と段階をおい、また時間をかけて両者に長期的な信頼関係を構築し相互の繁栄を目指すという考え方のもと全国の農場をまわっています。

今回開催します、酪農場を対象とした取り組みは全国でも初めてのケースとのことです。

また、是非とも自分の農場で氏のアドバイスを取り入れたいという希望がありましたら、1～2戸の農場であれば個々に対応していただけるとのことです。興味のある方は山下まで連絡していただければと思います。

講習会の案内は後日あらためて FAX します。今回の雇用関係の話は雑誌等ではたまに掲載されていますが、滅多に聞けない話だとおもいますので是非参加して下さい。

きれいな事のように聞こえるでしょうが、お互い「うちの農場で働いてくれて良かった。」「この農場で働いて良かった。」と思える農場(会社)になることが目指すところではないかと私は思っています。

-
- ・先日の台風でデントコーンが倒伏してしまうのではと心配していましたが、なんとか持ちこたえてくれました。既に収穫作業を終えた農場もありますが本格的な作業はこれからです。今年は天候不順で実入りがイマニ・イマサンですが、台風が少なくこれからも心配なさそうですので、プラス思考でとりあえず「よし」としまししょうか。
 - ・根室地方でも新型インフルエンザが流行りだしました。学校関係は小中高で休校が続出しています。西越先生は診療から戻ったら必ずうがいと手洗いを励行していました。最近私も多少は見習っています。みなさんも十分に気をつけて下さい。